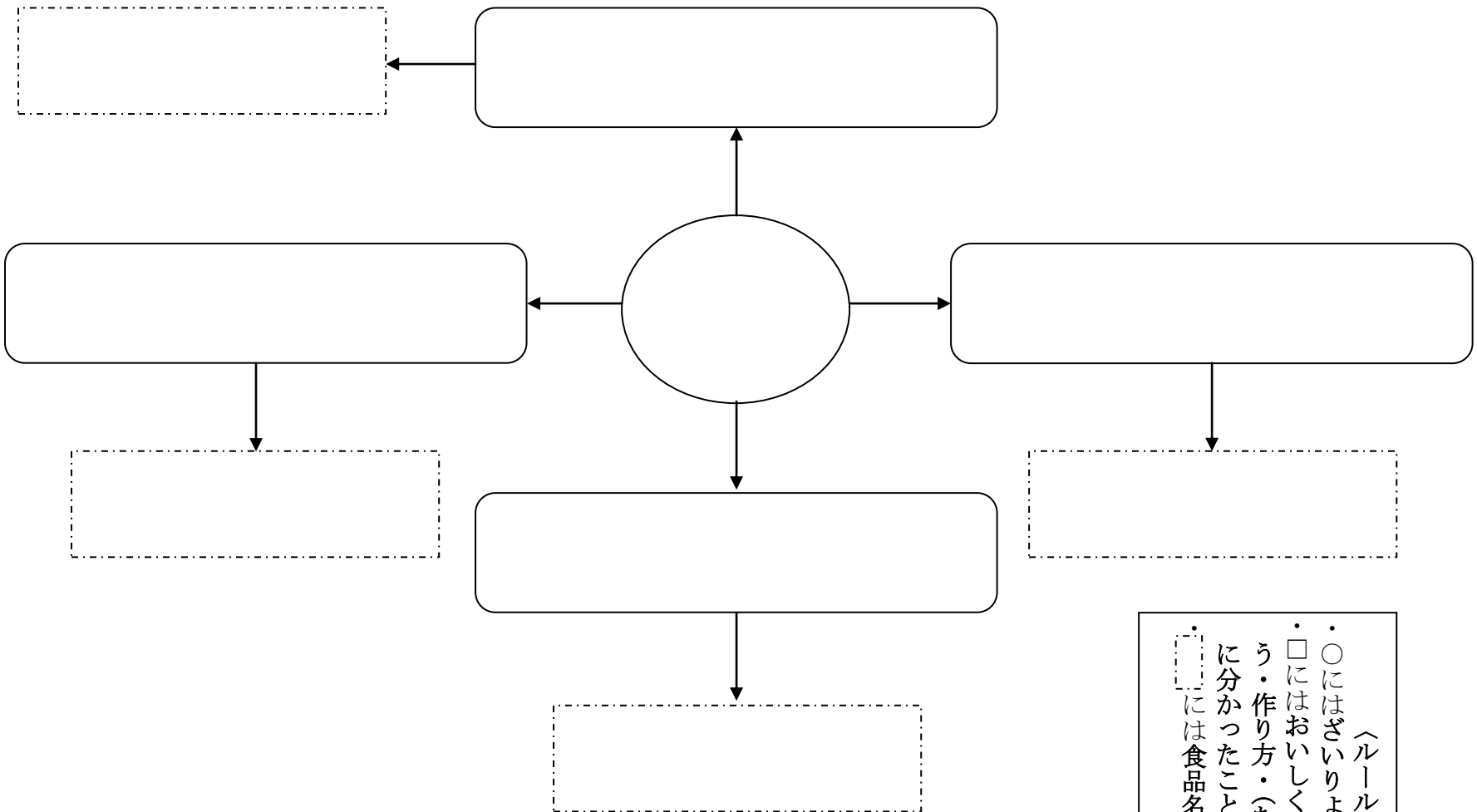


オリジナル説明文すがたをかえる○○○を書こう

名前 (

)



〈ルール〉
・○にはざいりようを書く。
・□にはおいしく食べるくふう・作り方・(あれば)他に分かったことを書く。
・[]には食品名を書く。

オリジナル説明文「すがたをかえる」〇〇〇を書こう

名前()

| | | | |
|--------------|-----|---|-----|
| | はじめ | 中 | おわり |
| 文章の組み立て | | | |
| 書く時に気をつけるべき点 | | | |

れい

すがたをかえる米

米には、いろいろな食べ方のくふうがあります。まず、米をその形のままたいて食べると、ごはんになります。米をといで、水につけてからたくと、ごはんになります。次に、おして食べるくふうがあります。もち米という米をおして、うすときねでつくると、もちになります。もちつきのおきかきを使うこともあります。もち米をさらし、こなしにして食べるくふうもあります。もち米をこなしにしたものに、水を入れて練ります。それをゆでると、白玉になります。

このように、米は、くふうされて、いろいろなすがたになって食べられています。

オリジナル説明文くすがたをかえる

名前

くを書こう

名前

ぼく・わたしが考える読みやすい説明文の書き方のポイントはこれだ！

はじめ

まず、

中

おわり

このように、

く五つの「かわり」

- ① 「はじめ」「中」「おわり」で書く。
- ② 「中」のだん落には言いたいこと(く)を()を先に書く。
- ③ 一つのだん落には一つのく()を書く。
- ④ せつぞく語を使ってれいを書いていく。
- ⑤ 「中」は「作り方が分かりやすいじゃんぼん」で書いていく。

使えるおぼえの語

・「また」

・「次に」

・「いちばん分りやすいのは」

・「わいて」

※この中から、文章に合うせつぞく語をえらぶ。□に書いていく。全語使おうとしないでいい。